



夢 実 現



慰霊の日特設授業



慰霊の日を前に、全校生徒参加の平和学習特設授業が行われました。今年度は対馬丸記念館の平良次子様に、沖縄戦からとどる沖縄の激動の時代を題材に、対馬丸事件や戦中戦後の沖縄についてご講演をいただきました。また、事前に文化委員が調査研究した内容の発表も行われ、平和について考える貴重な時間となりました。

6月23日(日) 県立第三中学校並びに県立第三高等女子学校の「在校生卒業生戦没者慰霊祭」が南燈慰霊の塔前において行われました。南燈慰霊の塔は、1956年「三中健児の塔」が建立され、1972年県立第三高等女子学校戦没者を合祀、1989年に改名され、2001年現在の名護高等学校横に移転されました。移転前より本校生徒も毎年参加し、慰霊祭が行われています。今年度は、高校生代表、附属桜中学校生徒を合わせ、150名以上が参加し、当日は、吹奏楽部の演奏のもと、合唱部が先頭に立ち、三中、三高女、名護高校の校歌を合唱のあと、献花を行い、ご遺族の皆様、同窓会の皆様と戦争による惨禍が再び起こることのないよう、恒久平和を希求するとともに、戦没者の御霊を慰めました。生徒を代表して生徒会長の比嘉芽吹さんが、「私たちに何ができるのか考えてみると、戦争という過ちを決して忘れないこと。今もなお世界各地で起きている戦争を他人事と思わず関心を持つこと。一日一日に感謝して大切に生きること」と追悼の辞を述べました。

南燈慰霊祭



桜中学校 台湾と交流

桜中学校2年生は、5月27日(月) 台湾新北市立板橋中学校生徒12名、職員3名が来校し、対面での交流会が実現しました。昨年度オンラインで板橋中学校との交流を行ってききましたが、実際に対面での交流が実現し、異文化理解、英語によるコミュニケーション能力を培う絶好の機会となりました。



今日は実際に会って交流してみて、とても楽しかったです。最初の歓迎の挨拶を担当して心配だったけど、満点のできて話すことができました。オンラインよりも実際に会った方が、説明の仕方を変えたりジェスチャーや言葉選びも変えることができるので、実際に他国の人と交流をもっとしたいと思いました。もっと英会話ができるように頑張りたいです。【井上晴陽】

1年生は初のオンライン交流

同じく1年生は、6月13日(木) 台中市立人中中学校と初めてのオンライン交流を行い、グループ別で沖縄の紹介などを行い、今後の交流を約束しました。はじめは緊張した様子でしたが、先輩を見習い活発な発言が随所にみられました。” さすが桜中”



大阪府立茨木高校 来校

6月18日(火) 大阪府立茨木高校の2年生73名が来校し、本校フロンティア科2年生と交流しました。茨木高校2年生が修学旅行で沖縄を訪れ、当日は、2つのグループが本校体育館にて、「地域、学校の文化・伝統」を共有し、「社会課題等について考える」事を目的に交流会を開催し、お互いの学校紹介のあとは、大阪、沖縄の現状と課題について活発なディスカッションが行われました。生徒からは、「明るく楽しく交流することができてとても良かった。今回の茨木高校修学旅行の計画からブレゼンして決めていくプロセスなど、今年の学園祭に役立てたい」「GTZの話の中で、勉強に対するモチベーションが上がった」「大阪の日常を聞くことができて楽しい時間だった」「大阪と沖縄の社会課題について共有することに、国策や予算について、もっと関心をもっとしていきたい」と思ったり、様々な感想が寄せられました。茨木高校のみなさん楽しく貴重な交流の時間をありがとうございました。



がくアルFESTA 高校生LIVEステージ

軽音楽部 準優勝

軽音楽部「ゲヴィンネン」ががくアルFESTA高校生LIVEステージ2024において見事準優勝を勝ち取りました。今回は2バンドを合わせ選抜したメンバーで出場。ヴォーカルの崎浜秀太さんは「悔しい気持ちはあるが、楽しむことができた」宮城愛香さんは、「練習の時から話し合いを重ねて成長することができた」と話し、次回はこの「ゲヴィンネン」全員で必ず優勝すると意気込みを語ってくれました。

